製造販売元: 😭 三笠製薬株式会社

セレコキシブ錠 200mg「三笠」の溶出性に関する資料

セレコキシブ錠 200mg「三笠」と標準製剤との生物学的同等性を評価するため「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン等の一部改正について」(平成 24 年 2 月 29 日 薬食審査発 0229 第 10 号) (以下、ガイドライン)に従い溶出試験 1)を実施した。

【試験条件】

試験製剤:セレコキシブ錠 200 mg「三笠」

方法	日本薬局方 溶出試験法 パドル法	液量	900mL				
温度	37±0.5℃	試験回数	12 ベッセル				
試験液	pH1.2, pH4.0, pH6.8, 水, pH1.2**, pH4.0**,pH6.8**						

^{※0.5%(}w/v)ポリソルベート 80 添加

【溶出性類似性の判定基準】

回転数	試験液	判定時点 (分)	類似性における判定基準		
	pH1.2	120	<規定された試験時間において標準製剤の平均溶出率が 10%以下の場合>		
	pH4.0	360			
	pH6.8	360	規定された試験時间でのみ評価し、試験製剤の平均裕田率が標準製剤の平均裕田≈ ±9%の範囲にある。		
	水	360	- ニョ/0 Vノ単凸四 (こ な) (3)。		
50rpm	pH1.2*	10	<標準製剤が30分以内に平均85%以上溶出しない場合>		
			規定された試験時間において標準製剤の平均溶出率が 85%以上となるとき、標準		
		45	製剤の平均溶出率が 40%及び 85%付近となる適当な 2 時点において、試験製剤の		
			平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にあるか、又は f2 関数の値が 42		
			以上である。		
	pH4.0*	15	<標準製剤が 15~30 分に平均 85%以上溶出する場合>		
		30	標準製剤の平均溶出率が 60%及び 85%付近となる適当な 2 時点において、試験		
	рН6.8**	15	製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にあるか、又はf2 関数の		
		30	値が 42 以上である。		
100rpm	рН1.2*	10	<標準製剤が30分以内に平均85%以上溶出しない場合>		
			規定された試験時間において標準製剤の平均溶出率が85%以上となるとき、標準		
		30	製剤の平均溶出率が 40%及び 85%付近となる適当な 2 時点において、試験製剤		
			の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にあるか、又は f2 関数の値が		
			42 以上である。		

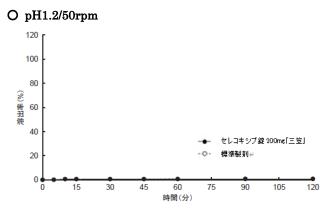
※0.5%(w/v)ポリソルベート 80 添加

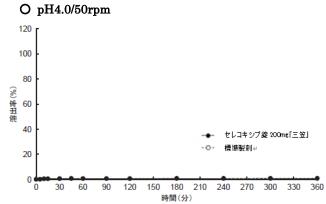
【溶出試験結果】

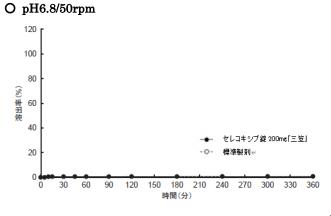
回転数	試験液	判定時点 (分)	平均溶出率(%)				
			標準製剤	試験製剤	差	判定基準	判定
50rpm	pH1.2	120	0.8	0.6	-0.2	- 試験製剤の平均溶出率 - が標準製剤の平均溶出 率±9%の範囲にある。	適合
	pH4.0	360	0.9	0.8	-0.1		適合
	pH6.8	360	0.8	0.8	0.0		適合
	水	360	0.8	0.9	0.1		適合
	pH1.2 ^{**}	10	32.0	31.8	-0.2	- 試験製剤の平均溶出率 - が標準製剤の平均溶出 - 率±15%の範囲にある - か、又は f2 関数の値が - 42 以上である。	適合
		45	86.7	86.8	0.1		適合
	pH4.0*	15	63.2	64.8	1.6		適合
		30	87.8	88.2	0.4		適合
	pH6.8**	15	62.1	62.4	0.3		適合
		30	86.3	87.1	0.8		適合
100rpm	pH1.2**	10	43.0	45.3	2.3		適合
		30	83.4	83.8	0.4		適合

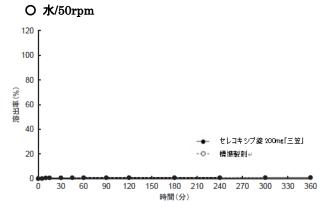
^{※0.5%(}w/v)ポリソルベート 80 添加

【溶出曲線】

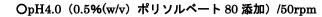


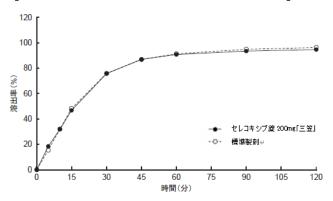


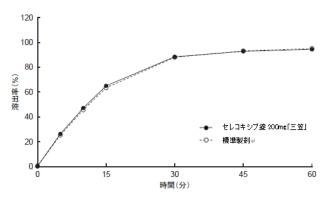




OpH1.2 (0.5%(w/v) ポリソルベート 80 添加) /50rpm

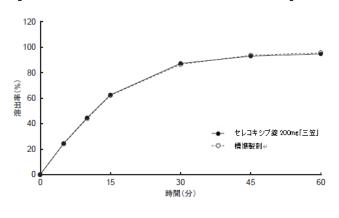


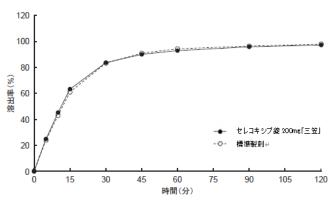




OpH6.8 (0.5%(w/v) ポリソルベート 80 添加) /50rpm

OpH1.2 (0.5%(w/v) ポリソルベート 80 添加) /100rpm





全ての試験条件において、ガイドラインで定める類似性の判定基準に適合した。 以上の結果より、試験製剤の溶出挙動は標準製剤の溶出挙動に類似していると判断された。

【引用文献】

1)三笠製薬株式会社 社内資料:セレコキシブ錠 200mg「三笠」生物学的同等性試験(溶出試験)に関する 資料

以上